

「新・大阪府豊かな海づくりプラン」 主な見直し箇所

- 全般：・基本目標、将来像、6つの取組方向、施策体系は現行の記載内容を継承
 ・各施策のタイトル横に関連するSDGsゴールのアイコンを掲載
 ・文章は現状を反映し簡潔に記載

新p.	新項目	新	現行
1	はじめに	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年4月以降の社会情勢（SDGs、漁業法改正、G20、万博）について記載し全面改訂 「大阪らしく新しい都市型漁業のあり方をめざし、それぞれの主体が変化」と記載 	<ul style="list-style-type: none"> 平成17～26年度の取組み、課題、将来像を記載 「広域的な漁場整備」「流通、販売、宣伝の一体展開」を新たな取組みとして記載
2	位置づけ 進行管理	<ul style="list-style-type: none"> 水産基本法第5条（地方公共団体の責務）に定める施策について記載 国際目標としてSDGsと大阪ブルー・オーシャン・ビジョンを位置付け 進行管理の模式図を修正 	<ul style="list-style-type: none"> 関連条文、関連目標・計画の記載なし
3	懇話会	<ul style="list-style-type: none"> 懇話会名簿は進行管理の次に掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 懇話会名簿は巻末の参考資料に掲載
3	コラム2 （新規）	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な開発目標（SDGs）と各ゴールに関連する水産施策を例示 	<ul style="list-style-type: none"> 記載なし
4	現状	<ul style="list-style-type: none"> グラフ（漁業生産量、水質等）を直近年の値に更新 	<ul style="list-style-type: none"> グラフは平成25年の値を使用
8	コラム4	<ul style="list-style-type: none"> 漁業の多面的な役割について、水産白書の記述に統一 改正漁業法第174条（多面的機能発揮への配慮／新規条文）について記載 	<ul style="list-style-type: none"> 漁業の多面的な役割を記載
10	施策体系 （施策の 統合）	<ul style="list-style-type: none"> 以下の7施策についてそれぞれ統合し、計32施策 ①施策1（広域的な漁場整備）に統合 ②施策5（水産研究）に統合 ③施策9（資源管理）に統合 ④施策9（資源管理）に一部統合 施策13（ブランド化）に一部統合 ⑤施策13（ブランド化）に統合 ⑥施策14（浜の活力再生プラン）に統合 ⑦施策25（ふれあいの場）に統合 	<ul style="list-style-type: none"> 計39施策 ①施策1（広域的な漁場整備） 施策3（地先型増殖場、間伐材、築いそ） ②施策5（水産研究） 施策34（専門知識の発信） ③施策10（資源管理） 施策11（不漁原因の究明、資源回復） ④施策14（淀川河口域の魚介類） ⑤施策16（ブランド化） 施策19（6次産業化） ⑥施策17（浜の活力再生プラン） 施策22（新たな収入源確保） ⑦施策31（ふれあいの場） 施策32（にぎわいづくり）
10	施策体系	<ul style="list-style-type: none"> ◎を削除 	<ul style="list-style-type: none"> 前半5年間で重点的に取り組む課題について◎を記載

新p.	新項目	新	現行
11	施策 1	・小項目の順は、①広域的な漁場整備→②攪拌ブロック礁 〔理由〕令和2年度で攪拌ブロック礁事業が完了するため	・小項目の順は、①攪拌ブロック礁→②広域的な漁場整備
12	施策 3	・国費を活用した海ごみ回収・処分の取組みについて記載	・回収事業と啓発について記載
12	コラム 5 (新設)	・大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの概要について記載	・記載なし
12	施策 4	・瀬戸内海大阪府計画の将来像（豊かな大阪湾）の実現について記載	・調査研究の強化について記載
14	施策 9	・水産政策の改革を踏まえ、科学的知見に基づく資源管理について記載	・漁業者が自主的に行う資源管理の推進について記載
-	コラム (削除)	・削除 〔理由〕平成14年度からの資源回復の取組みにより一定の成果を得たため	・サワラの資源回復について記載
14	施策 10	・水産政策の改革を踏まえ、漁業許可制度、海面利用制度の適正運用について記載	・現行の漁業許可制度、海面利用制度について記載
15	コラム 6 (新設)	・水産施策の改革について記載	・記載なし
16	施策 12	・海面養殖における適正な海面利用について記載	・府内の養殖に係る現状と課題について記載
16	施策 13	・水産エコラベルの認証取得の促進について記載	・記載なし
17	コラム 7	・プライドフィッシュ全12種掲載 (平成26-28選定分)	・プライドフィッシュ4種掲載 (平成26選定分)
17	コラム 8	・「淀川河口域」「カワチブナ養殖」を「地域の特色のある魚介類」に統合	・「淀川河口域」「カワチブナ養殖」の2コラム
18	施策 16	・水産政策の改革を踏まえ、漁協の役割と事業・経営基盤強化について記載	・漁業者が働きやすい漁協の基盤強化について記載
19	施策 19	・令和2年4月高石漁港の高石市移管について記載	・記載なし
20	施策 21 コラム 10	・積極的な情報発信によるイメージの向上について平成30年の数値に基づき記載	・大阪産魚介類の知名度の低さについて平成26年の数値に基づき記載
21	施策 22	・水産政策の改革を踏まえた流通構造の検討、輸出拡大等について記載	・新たな販路開拓の取組みについて記載
21	施策 24	・全国豊かな海づくり大会の大阪府開催について記載	・記載なし
23	施策 28	・高潮対策について記載	・南海トラフ地震対策、深日・小島ふれあい漁港について記載
23	施策 29	・検査結果のホームページ公表、貝毒発生時の出荷方策の検討について記載	・健康被害の防止、貝毒発生予測技術の開発について記載
24	施策 29	・海底耕耘と貝毒原因プランクトンの発生抑制効果との関係の可能性について記載	・記載なし

新p.	新項目	新	現行
26	数値目標	・以下の数値目標を変更	
		①漁場等における海ごみ回収実績(新規) (H30: 5,424 m ³ /年→R2-6: 計3万m ³)	①攪拌ブロック礁設置累積数 (H26: 45基→H29: 200基) ※R2: 200基達成見込み(遅れて達成)
		②キジハタ等放流累積尾数 (H30: 27.8万尾/年→R2-6: 計150万尾) ※5年(R2-6)×30万尾	②キジハタ等放流累積尾数 (H25: 301千尾→H33: 2,100千尾) ※H30: 1,497千尾(順調)
		なし	③浜プラン認定数 (H26: 4委員会→H31: 15委員会) ※H28に全26委員会認定完了(達成)
		③6次産業化による加工品開発数(変更) (H30: 4件/年→R2-6: 計20件) ※5年(R2-6)×4件	④6次産業化(総合化事業計画)認定数 (H26: 4件→H31: 8件) ※R1: 4件(遅れあり)
		④後継者等新規参入者数累計 (H30: 3人/年→R2-6: 計75人) ※5年(R2-6)×15人	⑤後継者等新規参入者数累計 (H25: 14人→H31: 75人) ※H30: 24人(遅れあり)
		⑤出前講習会等の開催(新規) (H30: 8回/年→R2-6: 計45回) ※5年(R2-6)×9回	⑥沿岸以外での魅力キャンペーン回数 (H26: 0回→H31: 10回) ※H30: 9回(順調)
		⑥水産関係の大阪産(もん)ロゴマーク登録件数(H30時点: 88店→R6: 130店) ※5年(R2-6)×約8店	⑦大阪産(もん)ロゴマーク登録件数 (H26: 37店→H31: 70店) ※H30: 88件(達成)
		⑦青空市場開設数 (H30: 6箇所→R2-6: 8箇所)	⑧青空市場開設数 (H26: 6箇所→H31: 8箇所) ※R1: 7箇所(遅れあり)
		⑧青空市場年間来場者数 (H30: 40.9万人→R2-6: 計250万人) ※5年(R2-6)×約50万人	⑨青空市場来場者数 (H25: 336,500人→H31: 30%UP) ※H29: 466,400人(39%UP/達成)
⑨内水面漁業権河川年間利用者数 (H30: 3万人/年→R2-6: 計18万人) ※5年(R2-6)×3.6万人	⑩内水面漁業権河川利用者数 (H25: 24,372人→H31: 10%UP) ※H29: 26,493人(9%UP/ほぼ達成)		
⑩漁港海岸における防潮堤の高潮対策整備の着手率 (R6時点: 100%)	⑪淀川ワンドにおけるイタセンパラ生息数 (H26: 700尾→H31: 1,400尾) ※R1: 11,677尾(達成)		
26	成果指標	⑪漁獲量 19,000トン	⑫漁獲量 22,000トン (H15-24平均: 20,000トン) ※H25-29平均: 18,681トン
		なし	⑬中高級魚介類の平均魚価 700円/kg (H24: 444円/kg) ※H29: 393円/kg
		⑫漁業所得 220万円	⑭漁業所得 1,816千円 (H24: 1,651千円) ※H29: 1,901千円(達成)
		⑬若手漁業者 30%	⑮若手漁業者 25% (H25: 20%) ※H30: 24%(順調)
		⑭大阪産魚介類を食べたことがある 60%	⑯大阪産魚介類を食べたことがある 60% (H26: 30%/H29: 26%/R1: 23%)

新p.	新項目	新	現行
26	成果指標	⑮大阪産魚介類「新鮮でおいしい」 60%	⑰大阪産魚介類「新鮮でおいしい」 60% (H26:26%/H29:39%/R1:33%)
		⑯大阪湾・河川とのふれあい「よいイメージ」 60%	⑱大阪湾・河川とのふれあい「よいイメージ」 60% (H26:20%/H29:32%/R1:28%)
27	役割分担	・ 文章を簡潔に記載	・ 関係する主体の役割を記載